

第95回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2012年5月20日（日）午後6時30分～8時30分	
講 師	靄見 美智子氏（東京教区西教寺坊守 アソカ幼稚園・和光幼稚園副園長）	
講 題	『人間として生きるとは？』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈（同朋奉讃式）
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

靄見 美智子（つるみ みちこ）
真宗大谷派東京教区横浜組西教寺坊守。
学校法人マーヤ学園アソカ幼稚園
学校法人三宝学園和光幼稚園 副園長。

先生からのメッセージ

ずっと以前のことですが、保育研修として動物の勉強をしていた時に、動物園の獣医さんが「子ども達には、自分も動物の一種であることを教えなければいけない。しかし、人間であることを自覚させなければいけない」と言われました。確かに、人間以外の生きものは、自分の種の生きる道をきちんと生きています。ところが人間は戦争をしたり自然破壊をして、いのちが生きていられない環境を作り出しています。ほっておけば、どこまでも暴走するのが「人間」ということなのでしょう。何故そんなことになるのでしょうか。人間として生きるとはどういうことなのかを考えていきたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。Tel.058-265-0033